



公立置賜総合病院

平成27年5月
第 42 号

医療連携だより

公立置賜総合病院医療連携・相談室 ☎0238-46-5000 内線 1902, 1409

「患者中心の医療」「地域包括ケア」その達人をめざして

総合診療系診療部長(兼)医療連携部副部長 高橋 潤

特集:

総合診療科
診療部長(兼)
医療連携副部長
高橋 潤 ……1

医療連携・相談室
担当医師 & スタッフ
紹介 ……2~3

出前講座(平成 26
年度の取り組み)
その他 ……4

皆さん、こんにちは。
4月から総合診療系診療部長に
着任しました高橋潤です。

医療連携副部長も兼任しておりますので、登録医の先生方、各病院・施設のスタッフの皆さま方のお世話になることが多いと思います。よろしくお願いいたします。

このたび、当院に新しく「総合診療科」を設立することになり、その責任者に私が任命されました。

高齢化社会になり多くの疾患や障害を抱えた患者が増え、一つの診療科では個々の患者の状態に全人的、包括的に対応することが難しくなっております。

また、風邪や腰痛などのよく遭遇する疾患や、高血圧症・高コレステロール血症・糖尿病などの状態の安定した慢性疾患の日常診療が、専門医の先生方の疲弊に拍車をかけている状態です。

このような患者に対して継続的に医療を提供することが「総合診療科」の役割だと考えます。加えて、診断に苦慮する患者、どの専門診療科にかかればいいのか決めかねる患者などへの対応も行います。

ご存じのとおり、我が国の専門医制度が大きく変わることになりました。

平成 29 年度から開始される



新しい専門医制度では、従来 18 領域だった基本領域に「総合診療専門医」を加え基本 19 領域の専門医資格とすることになります。

現在のところ、この「総合診療専門医」育成プログラムを実施している施設は山形県内に無いようです。このプログラムを作るのも私の仕事になります。

そのために、小児科、産婦人科、救急科、精神科だけでなく介護・福祉などの地域包括ケア、終末期医療、在宅医療などの様々な知識・経験を培う場が必要になります。

これらについては当院だけでは対応出来ませんので、関係する多くの方々にご指導いただくことになるかと思います。

これから地域の皆様のお役に立てる診療科として、地域の医療を支える医師育成施設として努力していきます。

ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年度の医療連携・相談室が新体制でスタートしました。医師6名を中心に、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、事務職等が連携し、医療連携体制や在宅療養支援体制の充実を図り、対応してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



<医師紹介>

平成27年度は、山田昌弘室長（副院長）をはじめ、5名の医師が医療連携・相談室を担当します。



山田昌弘（やまだ・まさひろ）

副院長(兼)医療連携部長(兼)医療連携・相談室長
(兼)診療情報管理室長(兼)呼吸器外科科長

「今年度から、精神科の鈴木先生、総合診療科の高橋先生にも医療連携に加わっていただきました。なお一層の連携充実を図ってまいります。」



大樂勝之

(だいらく・かつゆき)

医療連携部副部長
(兼)整形外科科長



渡辺晋一郎

(わたなべ・しんいちろう)

医療連携部副部長
(兼)教育研修部副部長
(兼)内視鏡室室長
(兼)消化器内科科長



那須郁子

(なす・いくこ)

医療連携部副部長
(兼)麻酔科医長



鈴木春芳

(すずき・はるよし)

医療連携部副部長
(兼)精神科医長



高橋 潤

(たかはし・じゅん)

医療連携部副部長
診療部長(総合診療系)

総合診療科案内

毎週月・水・金の午後2時～4時で

紹介予約をお受けしております。

症状が複合的で、専門診療科の選択が難しい場合などご紹介ください。

<スタッフ紹介>

医療連携・支援室では9人のスタッフが対応します。
各医療機関や施設、医療機関の皆さまにはたいへんお世話になっております。一部メンバーが変わりましたが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



医事情報課長（兼）
医療連携・相談主幹
布施 敏道



医療連携・相談主幹
（兼）看護副部長
高石 純子



主事（社会福祉士・
精神保健福祉士）
長谷部 泰



退院支援相談員
那須 康子



社会福祉士
齋野 敦子



社会福祉士
須貝 広子



医療相談専門員
渡邊 祐美子



予約センタースタッフ



医療連携支援員
栗田 政弘



事務補助員
情野 はるみ

私たちの主な仕事

医療連携・相談室は、患者さんが
良質な医療を継続して受けることが
できるよう、病院と地域の医療機関
との情報の橋渡しを主な仕事にして
おります。

医療連携・相談室 連絡先:

TEL:0238-46-5000(代)

FAX:0238-46-5721(直)

<予約センター>

TEL:0238-46-5700(直)

FAX:0238-46-5722(直)

出前講座 —平成 26 年度の取り組み—

平成 26 年度、計 8 回の出前研修を実施しました。講師は公立置賜総合病院の医師、看護師、理学療法士、薬剤師など幅広く対応させていただきました。研修参加者からは「それぞれの視点でわかりやすい講義だった」「施設や地域でも対策を取り入れ、スキルを高めていきたい」などご意見を多く寄せられました。今後もご要望にお応えできるように、また地域の連携推進としても、出前講座を開催していく予定です。

月日	依頼先	テーマ・内容	講師
5/21	双葉会 ござっとこ家	急変時における対応	救急看護認定看護師
5/30	米沢ファミリー・サポート・センター	小児看護の基礎	救急看護認定看護師
9/25	鈴木ファーム	高齢者の感染対策	感染管理認定看護師
10/20	特別養護老人ホーム ひめさゆり荘	高齢者の感染対策及び誤嚥性肺炎予防対策	感染認定看護師 慢性呼吸器疾患認定看護師 リハビリテーション部
11/19	太陽の里ふたば	高齢者の衰退期の身体変化・看取り対応	救急看護認定看護師 緩和ケア認定看護師
1/14	南陽市福祉課地域包括支援センター	ジェネリック薬剤について	薬局長
2/17	高畠町役場福祉課包括支援係	高齢者の転倒・骨折予防について	整形外科医師、看護部、薬剤部、リハビリテーション部
3/18	ディサービスたちばな	急変時の対応	救急看護認定看護師



公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL:
0238-46-5000

予約センターTEL:
0238-46-5700

FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院組合
。公立置賜総合病院
www.okitama-hp.or.jp



春爛漫

雪に閉ざされた野山に木々が芽吹き、花達が彩りを添え、見る人を幸せにする季節となりました。

物騒なニュースもありますが、のどかな置賜地域で安心して暮らせる環境を守っていききたいと思います。急性期病院の立場で、地域に貢献してまいります。

感謝

紹介・逆紹介を益々推進し、医療施設の機能分化を図るため、患者さんへは「まずかかりつけ医の先生を受診してください」と説明しております。また当院へ受診された患者さんの受診経過のお問い合わせにご協力いただき、感謝申し上げます。

在宅での主治医機能を強化して、ご紹介により情報の共有、病診連携を深めていきたいと考えます。併せて逆紹介の推進も努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。